

ウイルス分離及び抗原検出情報 2016年

ウイルス分離(仙台市内医療機関)

	第2週(最終)	第3週(中間)	第4週(中間)	第5週(中間)
	1月11日～	1月18日～	1月25日～	2月1日～
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	4	12	13(12)	0
A(H3)型	2	0	0	0
B型(山形系統)	0	0	1	0
B型(ヒクトリア系統)	0	0	0	0
C型	0	0	1	0
解析中	0	0	0	5
RSウイルス	6(5)	2	2	1
ヒトメタニューモウイルス	0	0	2	0
ムンプスウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	1	2	0	0
エンテロウイルス	0	0	0	0
ライノウイルス	0	0	0	0
単純ヘルペスウイルス	0	0	0	0
サイトメガロウイルス	1	0	2	0
パラインフルエンザウイルス				
1型	0	0	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	0	0	0	0
解析中	0	0	0	0
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	14/33	16/36	21/50	6/35

抗原検出状況(仙台医療センター)

	第2週	第3週	第4週	第5週
	1月11日～	1月18日～	1月25日～	2月1日～
インフルエンザウイルス	19/79	46/186	15/108	10/85
A型	17	46	15	7
B型	2	-	-	3
RSウイルス	2/7	0/4	2/13	0/9
ノロウイルス	2/16	2/9	0/5	0/6
ロタウイルス	1/14	0/9	0/5	0/5
アデノ(便中)	0/14	1/9	0/5	0/5
アデノ(呼吸器)	0/7	1/10	0/14	0/17
アデノ(眼科)	0/0	0/0	0/0	0/0
※溶連菌	2/4	0/8	0/6	1/9
水痘帯状疱疹	0/0	1/1	0/0	0/0
単純ヘルペス	0/0	0/1	0/0	0/0

今週のコメント:

①2016年第2週より、インフルエンザウイルス迅速診断の提出数、陽性数ともに増加しており、流行期に入ったと思われます。ご注意ください。主にA(H1)pdm型ですが、H3型、B型山形系統、C型も分離されています。

※お詫びと訂正

2014年第23週までインフルエンザウイルス分離についてA(H1)型とA(H1)pdm型とを併記しておりましたが、分離される株がすべてA(H1)pdm09型となっていたことから、2014年第24週より記載を統一してA(H1)型としていました。しかし、この表記では以前の季節性A(H1)型(俗称ソ連型)を意味することとなり、状況を正しく表現しているとは言えないものでした。そこで、2016年第2週より、「A(H1)pdm09型」という表記に改めさせていただきます。**2009年第32週以降に分離されたA(H1)型はすべてpdm09型でした。**長期間に渡り適切でない記載をしてしまい申し訳ありません。

(文責:大宮)

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2016年2月9日

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。

*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター